

二本松市放射線量測定マップ

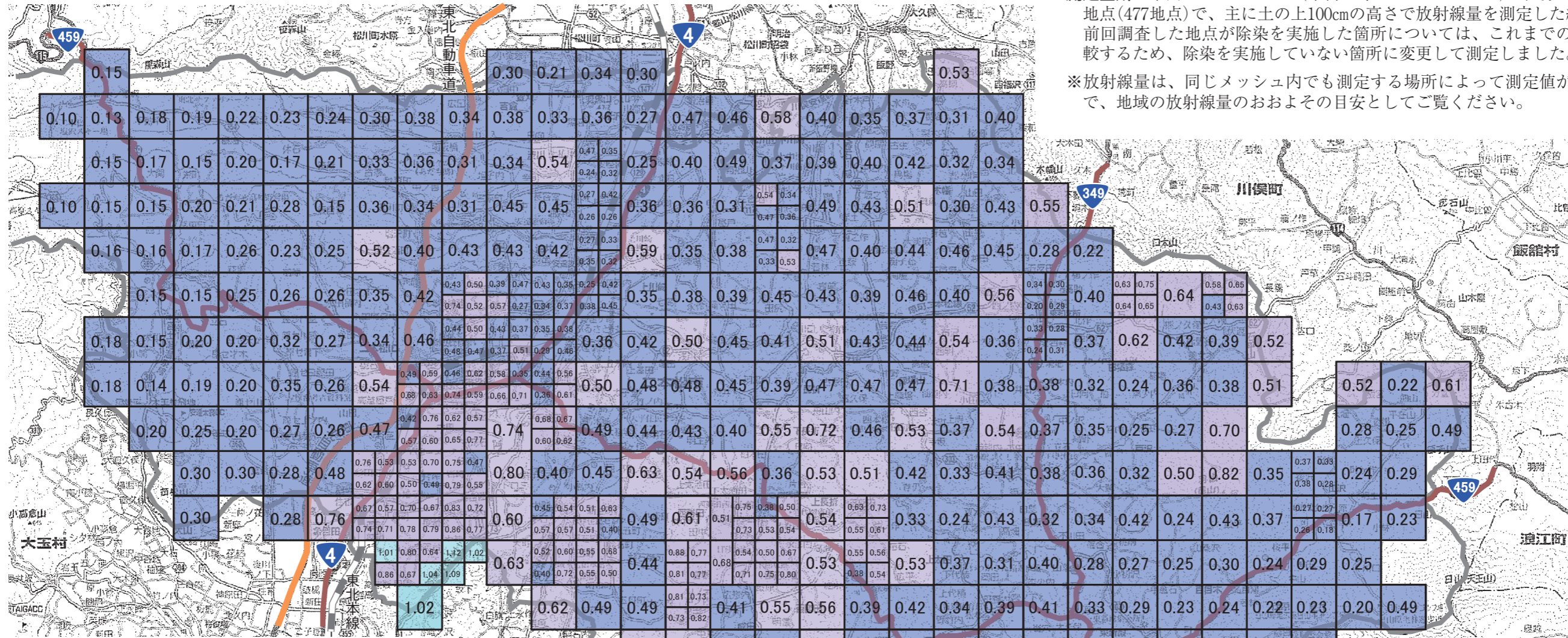
二本松市では、平成26年6月23日から7月10日にかけて、市内全域の放射線量を測定しました。測定の結果、放射線量が最も高かった地点は1.12 $\mu\text{Sv/h}$ 、最も低かった地点は0.10 $\mu\text{Sv/h}$ 、全体の平均では0.44 $\mu\text{Sv/h}$ となりました。全体平均の前回調査(H25.6.24~7.11)は0.60 $\mu\text{Sv/h}$ であったので、今回の調査と比較すると26.7%の低減となりました。また、平成23年度調査(H23.6.28~7.1)と比較すると、前回調査では45.9%の低減が見られましたが、今回の調査では60.4%の低減となりました。これらは、放射性物質の物理的減衰や風雨などの自然要因による減衰(ウェザリング効果)により低減したと見られます。

地図内の数値の単位は全て $\mu\text{Sv/h}$ (毎時マイクロシーベルト) です。

測定内容

測定日 平成26年6月23日(月)~7月10日(木)
測定機器 NaIシンチレーションサーベイメータ(TCS-172B)
測定箇所 市内を1kmメッシュ(市街地等は500mメッシュ)で区分し、それぞれの地点(477地点)で、主に土の上100cmの高さで放射線量を測定した結果です。前回調査した地点が除染を実施した箇所については、これまでの放射線量と比較するため、除染を実施していない箇所に変更して測定しました。

※放射線量は、同じメッシュ内でも測定する場所によって測定値が異なりますので、地域の放射線量のおおよその目安としてご覧ください。



○各地区の平均放射線量

(単位 $\mu\text{Sv/h}$)

地区	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成23年との比較	平成25年との比較
二本松	1.16	0.87	0.60	0.46	▲60.3%	▲23.3%
塩沢	0.69	0.53	0.40	0.29	▲58.0%	▲27.5%
岳下	1.14	0.83	0.59	0.44	▲61.4%	▲25.4%
岳温泉	0.37	0.34	0.23	0.18	▲51.4%	▲21.7%
杉田	1.78	1.29	0.94	0.69	▲61.2%	▲26.6%
石井	1.47	1.09	0.85	0.59	▲59.9%	▲30.6%
大平	1.28	0.96	0.69	0.48	▲62.5%	▲30.4%
油井	0.95	0.70	0.50	0.37	▲61.1%	▲26.0%
渋川	0.81	0.69	0.46	0.33	▲59.3%	▲28.3%
上川崎	1.27	0.80	0.59	0.42	▲66.9%	▲28.8%
下川崎	1.33	0.86	0.61	0.44	▲66.9%	▲27.9%
小浜	1.44	1.07	0.80	0.57	▲60.4%	▲28.8%
新殿	0.76	0.61	0.45	0.34	▲55.3%	▲24.4%
旭	0.74	0.54	0.42	0.29	▲60.8%	▲31.0%
針道	0.99	0.78	0.56	0.41	▲58.6%	▲26.8%
木幡	1.19	0.78	0.56	0.42	▲64.7%	▲25.0%
太田	1.20	0.75	0.59	0.46	▲61.7%	▲22.0%
戸沢	1.04	0.80	0.60	0.41	▲60.6%	▲31.7%
全体	1.11	0.81	0.60	0.44	▲60.4%	▲26.7%

凡例	
	0.00~0.50 $\mu\text{Sv/h}$
	0.50~1.00 $\mu\text{Sv/h}$
	1.00~1.50 $\mu\text{Sv/h}$
	1.50~2.00 $\mu\text{Sv/h}$